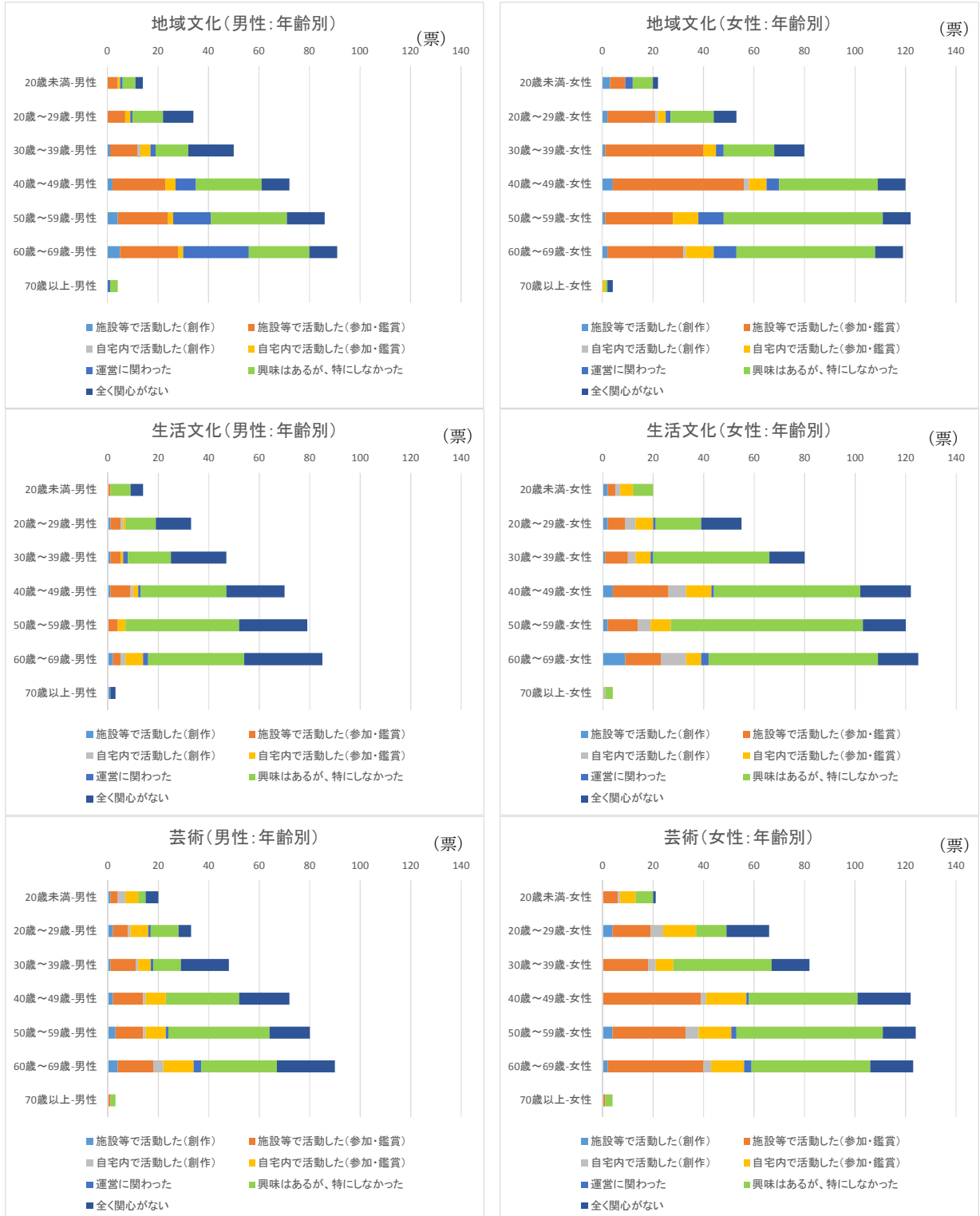
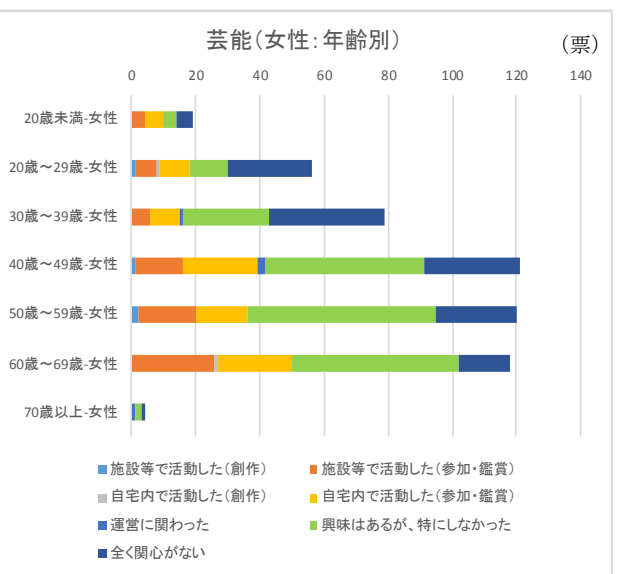
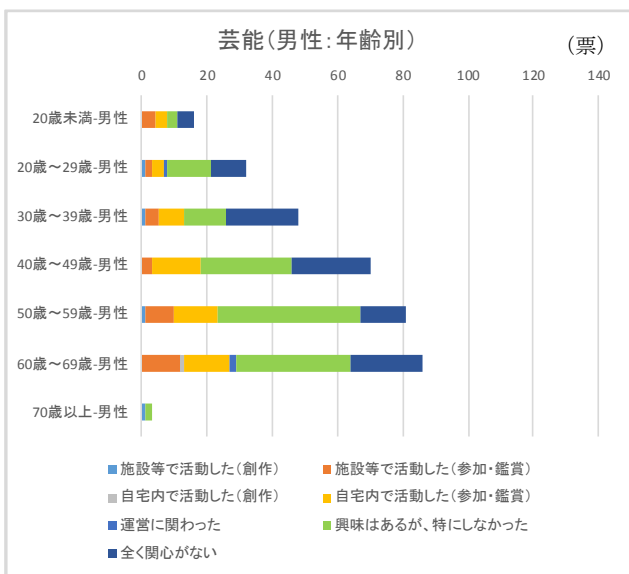
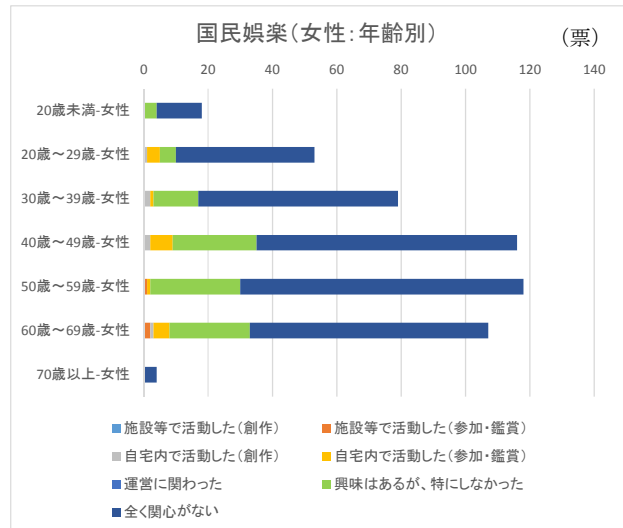
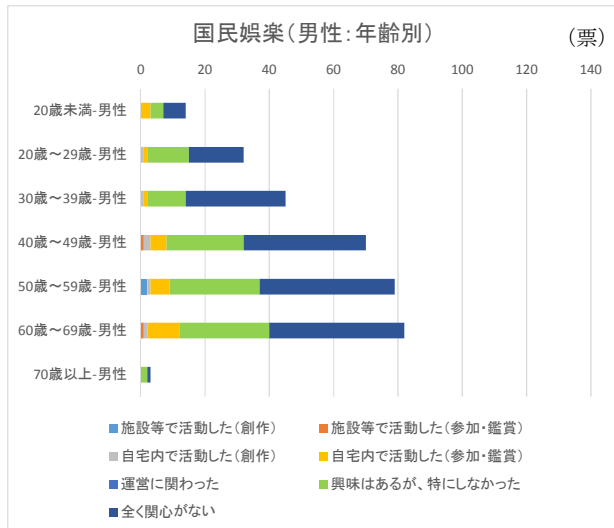
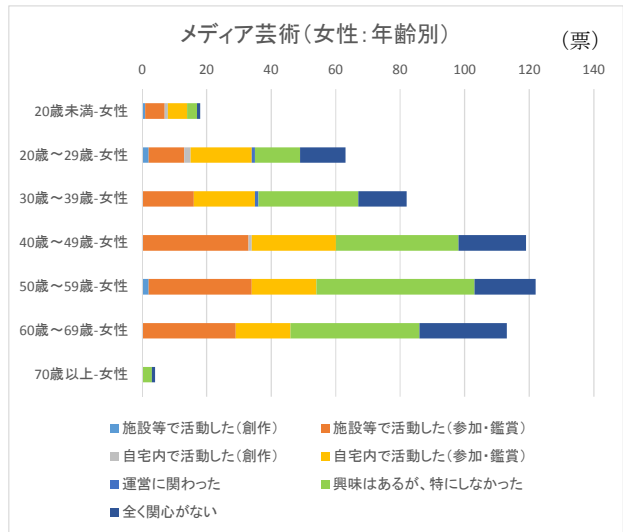
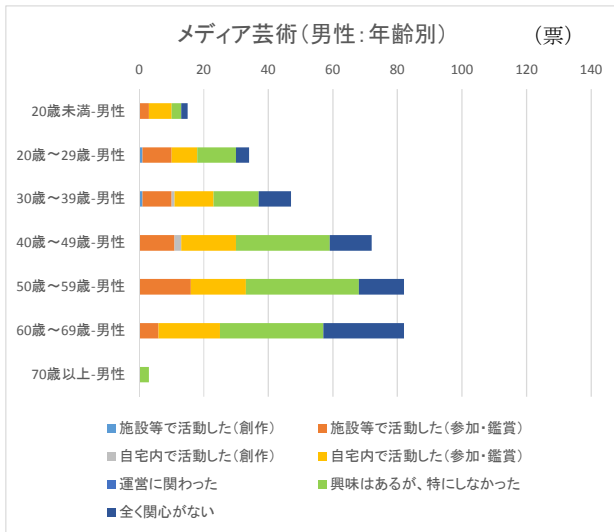


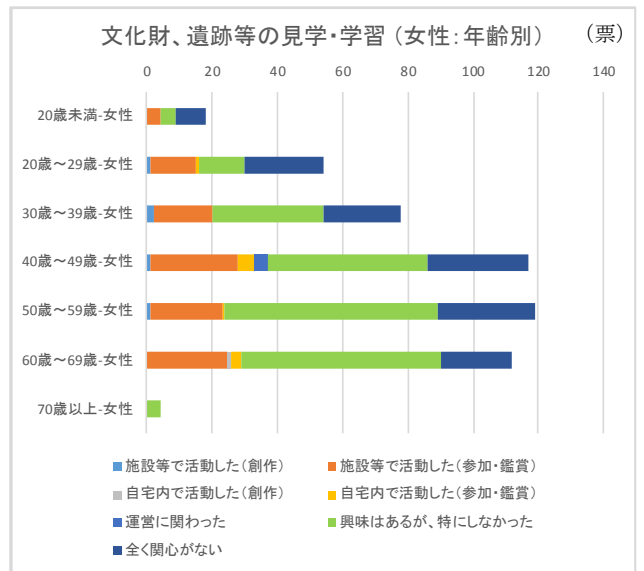
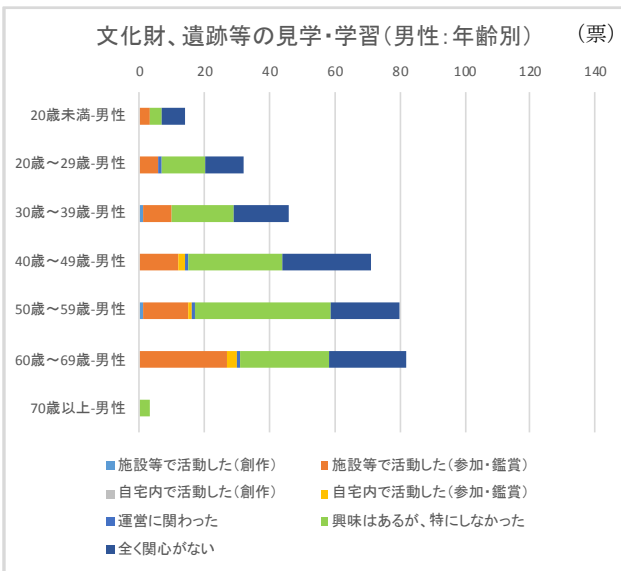
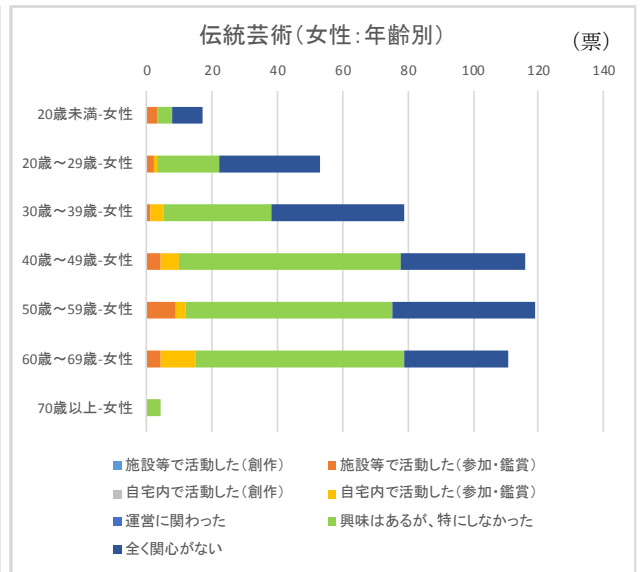
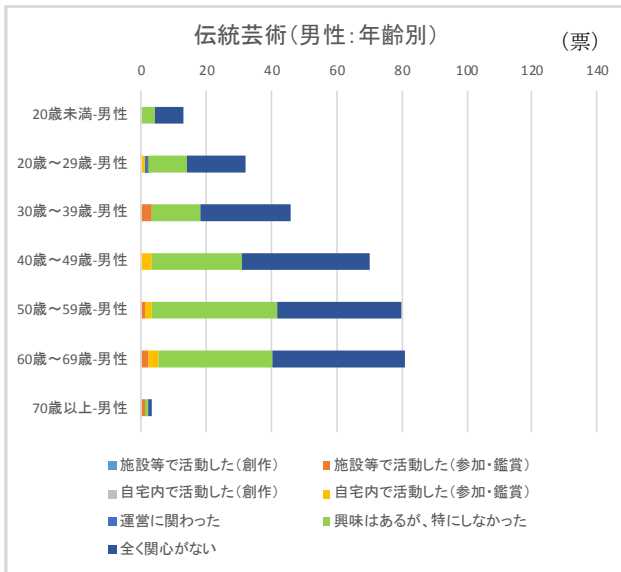
クロス集計による子育て世代（30代～40代）の傾向

- 40代から「施設等で活動した」と「興味はあるが特に活動しなかった」が増加する。この傾向は男性よりも女性に顕著である。

問5（過去1年間の活動や興味・関心）×性別×年齢



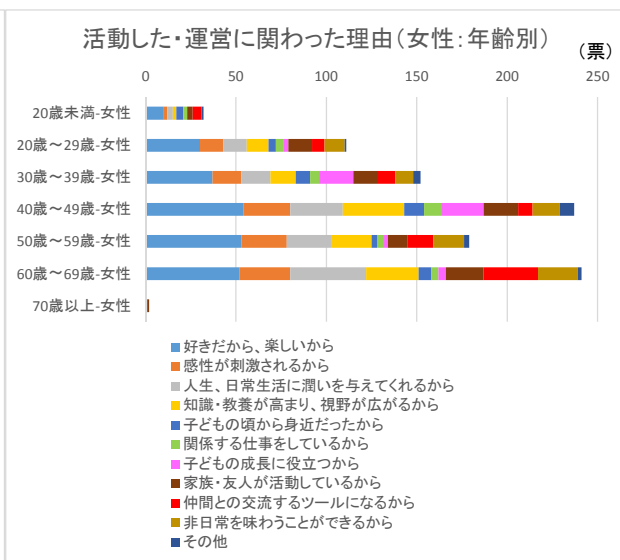
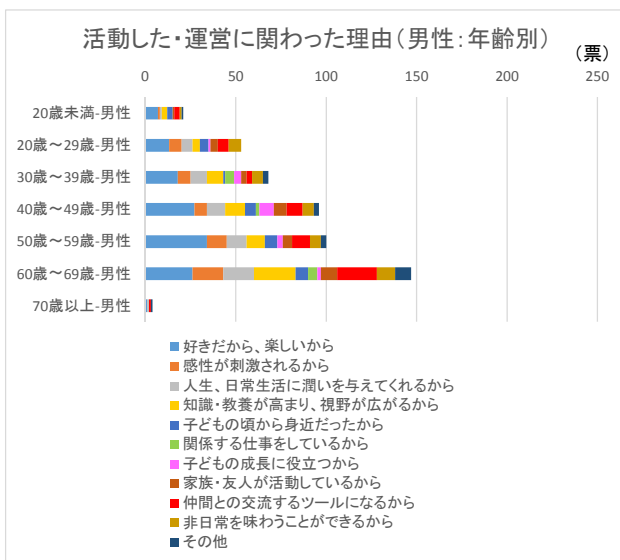
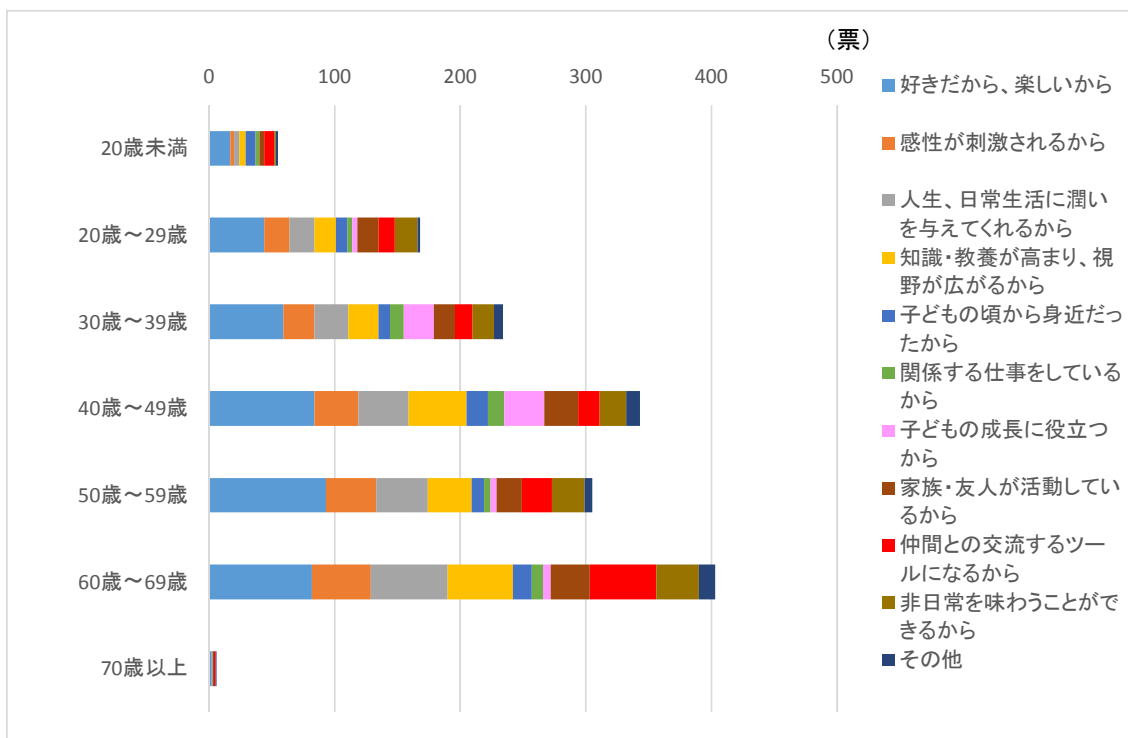




2. 活動や運営に関わる理由は、30代と40代は他の年代に比べ「子どもの成長に役立つから」が多い。これは男性よりも女性の回答数が多い。

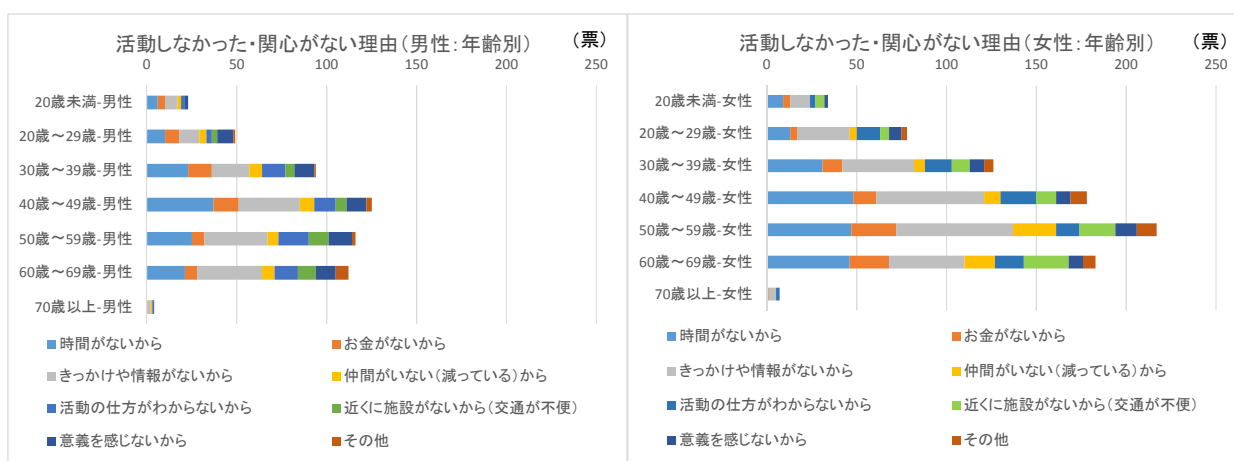
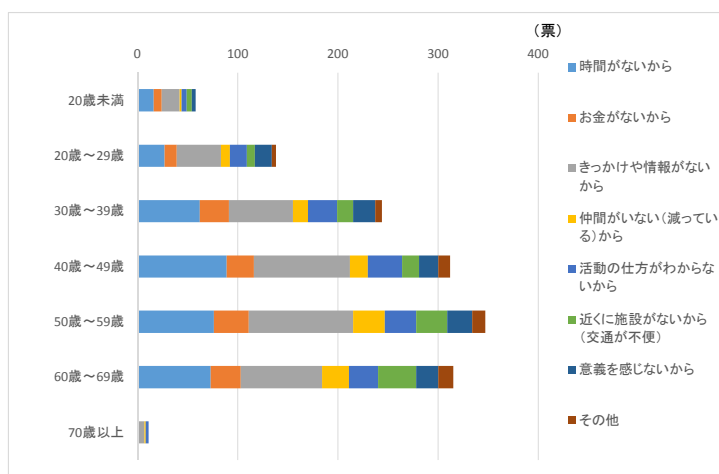
60代は「仲間との交流するツールになるから」が多いが、男女差はあまり見られない。

問1（年齢）×問6（文化・芸術に関する「活動をした」「運営に関わった」理由）



3. 活動しない、興味がない理由は、「時間がない」「きっかけや情報がない」が多い。50代女性で「仲間が少ない(減っているから)」がやや多い。男性は50代から「時間がない」が減少傾向を示す。

問1(年齢)×問7(「興味はあるが、特にしなかった」「全く関心がない」と回答した理由)



以上の3点から、女性は男性よりも子供との関わりが強く、またママ友など子育てを通じた交友関係が広がることから、30代から40代で活動に参加する機会が増えると考えられる。しかし、関心はあるが活動しない人も増えており、50代になると子供やママ友との関係も減る傾向が見られることから、30~40代に子供やママ友から機会を得て、さらに自分なりに文化芸術と関われる仲間と出会った人は、その後も継続して活動し、ライフスタイルを充実させていると考えられる。このような世代に情報を届けることが必要と考えられる。そして、男女共通して「時間がない」という回答が増えることから、仕事や家事・育児に忙しい中でも気軽に無理のない時間で参加する、また交友関係が広がり仕事に役立つなど、家族の余暇とは別の文化芸術との関わり方を提案することも必要と思われる。また、男性は自分の時間が持てるようになる50代からの活動のきっかけや情報提供も必要と思われる。